

■平成 12 年度 催物案内

陶の 標(しるし)山田光(やまだひかる)展

2000 年 4 月 4 日(火曜)から 5 月 14 日(金曜)

山田光は、戦後、八木一夫らとともに「走泥社(そうでいしゃ)」を興し、日本でやきものによる立体造形に革新的作品を発表してきた先駆者のひとりです。器から立体作品まで、半世紀にわたる作品およそ 130 点を一堂に回顧します。

第 54 回岐阜県美術展

一般部：5 月 27 日から 6 月 4 日

青年部：6 月 8 日から 6 月 11 日

少年部：6 月 15 日から 6 月 18 日

一般部：日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・グラフィックデザインの 7 部門からなる公募展

青年部：絵画・デザイン・彫刻・書道・写真の 5 部門からなる公募展

少年部：絵画・デザイン、書写の 2 部門からなる公募展

岐阜・現代の美術 2000

2000 年 8 月 11 日(金曜)から 10 月 9 日(月曜・祝日)

前年度、めざましい活躍をした県内在住作家の話題作を紹介します。日本画・洋画・彫刻・書・写真・デザインの 6 部門からその作品を選びます。

絵画は思考する岐阜県美術館 所蔵品特別展

7 月 25 日(金曜)から 8 月 24 日(日曜)

20 世紀最後の所蔵品特別展として、分野の枠組みを取り去り、「20 世紀の絵画」として所蔵品を展示します。この試みから、20 世紀にとって絵画とは何だったのかという、現代の美術の本質にかかわる問いも生まれるでしょう。

東京芸大美術館 名品展

2000 年 10 月 27 日(金曜)から 11 月 26 日(日曜)

東京芸術大学は多くの美術品を収集しており、その数約 45000 点に及びます。同大学のコレクションを展示する「東京芸大美術館」の開館を記念して、名品の数々を紹介します。

アンドリュー・ワイエス水彩・素描展

2000 年 12 月 15 日(金曜)から 2001 年 2 月 12 日(日曜)

アンドリュー・ワイエスはアメリカン・リアリズムを代表する最も重要な作家です。卓越した絵画技法によって、単なる写実主義ではない、精神性を秘めた独自の表現を見せているワイエスの世界を紹介します。

素材は語る―土、木・・・所蔵品展

2001年2月20日(火曜)から3月25日(日曜)

本展は、ヨーロッパとアメリカのそれぞれの地域で現代ガラスの発展に積極的に寄与してきたデュッセルドルフ美術館とコーニング・ガラス美術館の協力をもとに、国際的視野でこの30余年のガラス芸術の成果を検証し、今最も重要な位置を占める作家20人を厳選して、1作家各5点、合計100点の新作・近作によって現代ガラスの行方を探ろうとするものです。